

なるほど!
ザ・ファンド



Vol.226



物価上昇による「お金の価値の目減り」に対処する方法は？



対処方法の一つに資産運用があります。お金の価値を維持するために、金融資産に占める「運用資産の割合」と「必要な利回り」を考えていきましょう。

◆ 仮に、物価が継続的に年2%上昇する中、何も対処しなかった場合には、実質的なお金の価値は減少してしまいます。こうしたお金の価値の減少への対処方法の一つとして資産運用があります。ただし、金融資産に占める「運用資産の割合」によって、お金の価値を維持するための「年間収益率（必要な利回り）」は変わってきますので、「運用資産の割合」を考えていくことが重要です。

物価が年2%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

〈 1,000万円に占める運用資産の割合（横軸） 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	915	919	920	922	926	933	941	948	952
2%	915	923	928	932	940	957	974	991	1,000
3%	915	928	935	942	955	982	1,009	1,036	1,050
4%	915	934	943	952	971	1,008	1,046	1,083	1,102
5%	915	939	951	963	987	1,035	1,084	1,132	1,156
6%	915	945	959	974	1,004	1,063	1,123	1,182	1,212
7%	915	950	968	986	1,021	1,093	1,164	1,235	1,270
9%	915	963	987	1,011	1,058	1,154	1,250	1,346	1,394
11%	915	976	1,007	1,037	1,098	1,221	1,343	1,465	1,526
13%	915	990	1,028	1,066	1,141	1,292	1,443	1,593	1,669
15%	915	1,006	1,051	1,096	1,187	1,368	1,550	1,731	1,822

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約915万円に！

300万円（30%）を運用した場合、約6%以上の年間収益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

(注) 上記は年2%の物価上昇が5年間続くと仮定。また、運用資産はそれぞれの収益率で運用し、運用資産以外は1月24日に公表された国内大手銀行（みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行）3行の変更後の円普通預金金利の利率0.2%として算出した場合のシミュレーションです。

(出所) 各銀行の公表データ等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

※この資料の最終ページの「重要な注意事項」を必ずご確認ください

物価が年3%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

〈 1,000万円に占める運用資産の割合 (横軸) 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	871	875	877	878	882	889	896	903	907
2%	871	879	883	887	896	912	928	944	952
3%	871	884	891	897	910	936	961	987	1,000
4%	871	889	898	907	925	960	996	1,032	1,049
5%	871	894	906	917	940	986	1,032	1,078	1,101
6%	871	900	914	928	956	1,013	1,069	1,126	1,154
7%	871	905	922	939	973	1,041	1,108	1,176	1,210
9%	871	917	940	962	1,008	1,099	1,190	1,282	1,327
11%	871	929	959	988	1,046	1,162	1,279	1,395	1,454
13%	871	943	979	1,015	1,087	1,230	1,374	1,517	1,589
15%	871	958	1,001	1,044	1,130	1,303	1,476	1,649	1,735

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約871万円に！

500万円 (50%) を運用した場合、約6%以上の年間収益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

物価が年5%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

〈 1,000万円に占める運用資産の割合 (横軸) 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	791	795	796	798	801	807	814	820	823
2%	791	799	802	806	813	828	843	858	865
3%	791	803	809	815	826	850	873	897	908
4%	791	808	816	824	840	872	905	937	953
5%	791	812	823	833	854	896	937	979	1,000
6%	791	817	830	843	869	920	971	1,023	1,049
7%	791	822	838	853	884	945	1,007	1,068	1,099
9%	791	833	854	874	916	998	1,081	1,164	1,206
11%	791	844	871	897	950	1,056	1,162	1,267	1,320
13%	791	857	889	922	987	1,117	1,248	1,378	1,444
15%	791	870	909	948	1,027	1,184	1,341	1,497	1,576

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約791万円に！

900万円 (90%) を運用した場合、約6%以上の年間収益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

(注) 上記は年3%、年5%の物価上昇が5年間続くと仮定。また、運用資産はそれぞれの収益率で運用し、運用資産以外は1月24日に公表された国内大手銀行（みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行）3行の変更後の円普通預金金利の利率0.2%として算出した場合のシミュレーションです。

(出所) 各銀行の公表データ等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。